

令和 7 年大井町議会第 4 回定例会

一般質問書

令和 7 年 1 2 月

通告順	質 問 事 項	質問者	(分) 時間	頁
1	・ A I の活用による行政サービスの向上について ・ 上大井駅舎改修の進捗について	笠井裕太	5 0	1
2	・ 児童生徒が、安全で充実した学校生活を送るための環境整備について	黒岩陣太郎	5 0	2
3	・ 子ども・子育て施策の充実について ・ 学校や公共施設トイレへの生理用品の設置について ・ 水道料金及び下水道使用料の減免制度について	大石 舞	6 0	3
4	・ 遊休農地対策について ・ 若者の視点を活かしたまちづくりについて	鈴木磯美	5 0	4
5	・ 認定こども園新設における進捗状況について	重田有紀	6 0	5
6	・ 子どもたちの健全な成長を支える学校給食の充実について ・ 子どもたちが安心して過ごせる「おいおい児童コミュニティクラブ」の建設について	清水亜樹	6 0	6

質問者	通告 1 番	通告時間 5 0 分
	1 番 笠井 裕太 議員	答弁者 町 長
質問事項		要 旨
1. A I の活用による行政サービスの向上について	1. 人口減少や少子高齢化が深刻な課題となるなか、A I (人工知能)の急速な進展は、私たちの暮らしや仕事のあり方に大きな変化をもたらしている。 本町では、「第6次総合計画後期基本計画策定方針」の計画策定における基本的視点として、A I の活用による行政サービスの更なる向上を掲げているが、将来を見据えた行政のあり方を考える上で、A I を今後どう位置づけ、どう使いこなしていくかが問われる。そこで次の項目について伺う。 (1) 行政事務におけるA I 活用の現状と課題は。 (2) 行政文書作成・情報整理の取組みは。 (3) 活用に向けた職員の体制整備とスキル育成は。 (4) 行政サービスにおけるA I の導入は。 (5) リスク管理とガバナンスは。 (6) 将来にむけてA I 活用のビジョンは。	
	2. 上大井駅舎改修の進捗について 2. 上大井駅舎について、J R 東海は当初撤去方針を示したが、地域からの陳情により存続・改築へ転換され、町も一定の補助を含め協議を進めていると承知している。地域の歴史と文化を象徴する駅舎としての価値を踏まえ、その方向性と今後の考え方を伺う。 (1) 改築に向けた進捗は。 (2) 改築後の利活用の方針は。	

質問者	通告 2 番	通告時間 5 0 分
	5 番 黒岩 陣太郎 議員	答弁者 町長・教育長
質問事項	要 旨	
1. 児童生徒が、安全で充実した学校生活を送るための環境整備について	1. 児童生徒が、安全で充実した学校生活を送り、成長できる環境を整えることは、教育の質を高める上で非常に重要となる。登下校時における安全確保や学校施設の改善、学習支援体制の強化など児童生徒を取り巻く環境の整備について、次のとおりを伺う。 (1) 通学路の安全チェックや改善計画は。 (2) 小中学校における熱中症対策は。 (3) いじめに関する実態調査と報告状況は。 (4) 児童生徒に対するメンタルヘルス支援の取り組みは。 (5) 9 月より導入したアプリ「すぐーる」の具体的な活用と課題は。 (6) I C Tを活用したデジタル教育の推進状況と課題は。	

質問者	通告 3 番	通告時間 6 0 分
	4 番 大石 舞 議員	答弁者 町長・教育長
質問事項		要 旨
1. 子ども・子育て施策の充実について	1. 現在、町は町立認定こども園の新築など、子ども・子育てに関わる重要な環境整備を進めている。町として今後の子ども・子育て施策の岐路に立っているとも言える。一方で本町には子育て等に関して課題の残る制度も多くあり、早期改善が望まれる。子ども・子育て支援の充実を図る観点から、以下について伺う。 (1) 就学援助制度の認定方法について、改善は。また内容の充実について、考えは。 (2) 妊婦健康診査費用補助事業について、補助の方式変更や補助額の拡充は。 (3) 多様な集団活動事業の利用支援事業について、導入は。	
2. 学校や公共施設トイレへの生理用品の設置について	2. 月経は生理現象であり、生理用品は生活の必需品である。生理の貧困という言葉が社会問題となった経緯を受け、トイレットペーパーや石鹸などと同様に、学校や公共施設のトイレに設置されるべきと考えるが、町の考えは。	
3. 水道料金及び下水道使用料の減免制度について	3. 物価高騰が続く社会状況において、命を守るインフラである上下水道を恒久的に住民に保障することは重要である。経済的負担軽減と公平性の観点から、障がい者やひとり親家庭などへの減免制度が必要と考えるが町の考えを伺う。	

質問者	通告 4 番	通告時間 5 0 分
	1 0 番 鈴木 磯美 議員	答弁者 町 長
質問事項		要 旨
1. 遊休農地対策について	1. 近年、高齢化や担い手の減少から農業を取り巻く環境はさらに厳しいものとなっている。このような中、町では地域計画を策定するとともに、担い手の負担軽減の一環として各種資機材を導入するなど遊休農地対策に取り組んでいる。そこで、現状と諸課題について次のとおり伺う。 (1) 遊休農地の現状と対策は。 (2) 遊休農地に新たな税を検討する考えは。 (3) 鳥獣被害対策として導入したドローン及びわな発信機の活用状況は。 (4) ガバメントハンター導入の検討は。	
2. 若者の視点を活かしたまちづくりについて	2. 将来にわたって魅力あるまちであり続けるためには、若者の意見を町政に反映させることが大変意義深いものとする。そこで、現状と今後の展望について次のとおり伺う。 (1) 若者の意見聴取と施策への反映状況は。 (2) 若者会議を創設する考えは。	

質問者	通告 5 番	通告時間 6 0 分
	6 番 重田 有紀 議員	答弁者 町長・教育長
質問事項		要 旨
1. 認定こども園新設における進捗状況について		1. 認定こども園を新設するため計上された 6 月定例会補正予算では、第二幼稚園と大井保育園を統合し既存の第二幼稚園舎を改築する案が示されていたが、1 0 月に子ども・子育て会議の場で、第二幼稚園南側園庭に木造平屋建て園舎を新設することが明らかとなった。委員からの質疑で高額な総工費概算も示され、令和 9 年度には、おおい児童コミュニティクラブも新設されることから、今後子育て支援事業に大きな予算が計上される。全国的に見ても公共施設の統廃合が相次ぐ昨今、高額な箱物建設に対し子育て世代以外の町民の理解を得ることは簡単ではない。丁寧かつ詳細な情報提供が求められることから以下のとおり伺う。 (1) 建て替えに変更した理由は。 (2) 総工費と財源は。 (3) 木造における耐震、耐火等の安全性は。 (4) 定員数と床面積は。 (5) 調理室と給食は。 (6) 開園に向けた今後のスケジュールは。 (7) 開園までの幼稚園運営は。 (8) 町民に向けた情報提供手段は。 (9) 将来に渡る園運営のための子育て世代の移住定住策は。

質問者	通告 6 番	通告時間 6 0 分
	1 2 番 清水 亜樹 議員	答弁者 町長・教育長
質問事項		要 旨
1. 子どもたちの健全な成長を支える学校給食の充実について	1. 成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のためには、美味しく栄養バランスの取れた食事を提供する学校給食の充実が重要である。そこで、次の点について伺う。	
	(1) 町長は学校給食の完全無償化を公約に掲げている。早期の実現が望まれるが、現在の進捗状況は。 (2) 透明性の確保などの観点から、学校給食費を公会計化すべきと考えるが見解は。 (3) 食育や地産地消の推進などの観点から地場産食材の活用が重要であると考えます。現在の地場産食材の使用率は。 (4) 学校給食で発生する残さをフードリサイクルとして堆肥化等に活用すべきと考えるが見解は。 (5) 現在、幼稚園年少児への給食提供は週 2 回実施されているが、完全実施に向けた考えは。	
2. 子どもたちが安心して過ごせる「おいおい児童コミュニティクラブ」の建設について	2. 現在進められている「おいおい児童コミュニティクラブ」の建設について、安全・安心で充実した施設となるよう次の点について伺う。	
	(1) 現在の進捗状況は。 (2) 新施設は既存施設より建物規模が縮小されるようだが、児童や職員への影響は。 (3) 移転後の既存施設の方向性は。	